

全国学校ギター合奏コンクール2018 審査評

10. 大和市立引地台中学校クラシックギター一部<指揮:大沼まさき>

課題曲 星月夜1“The starry night 1”/竹内 淳

自由曲 A DOUNLAND SUITE I.PRELUDE/J.アイアランド(大沼まさき編)

審査員名	課題曲	自由曲
有馬	<p>新入生13人ということで大沼さん指導も大変でしたね。新曲に取組むということは、初心者にとって大きな壁だと思います。抑揚の付け方や技術面での指導、苦勞されたと思いました。さいごへの持って行き方も不自然でなく良かったです。それより演奏された皆さん本当によく練習しましたね。 よくないところと言えば入れ替えの所でしたがたがたした所位かな？ 指揮台を使わないところ良いと思いました。</p>	<p>抑揚のしっかりしたまとめ方。演奏者良く練習しました。ソロの部分、演者にとっては大変でしょうが聴き手にはたるみ易かったるくなりませぬ。充分注意して下さい。 アイランド民謡はドーリア技法が多く、この曲もそんな部分を感じさせませぬ。流れのあるいい演奏だったと思います。</p>
小胎	<p>fの場合の低音部、バランスが悪い。</p>	<p>良く弾いている。特徴のない曲。コンクールには向かないのでは。</p>
小林	<p>弱奏で出するのに指揮の構えが大き過ぎて音量表現と合っていない。 弱奏が弱過ぎて何を表現したいのか？ 楽器編成は良いが響きのバランスともなっていない。呼吸が浅いのもう一步盛り上がり欠ける。</p>	<p>小手先で演奏しているので力強いfは出ない。もっと体全体を使って深い呼吸でフレーズごとに自然な体の動きで音楽を表現して欲しい。</p>
富田	<p>よい演奏でした。</p>	<p>高音部がウスイ。 歌いたい歌がわからない。</p>
竹内	<p>さすがに(というべきか)Bの低音のフレーズの切り方が音楽的に美しい。アンサンブル的に難しい冒頭部分含め、よくまとめられていた。</p>	<p>こちらはバスの音色がfでアクセント付き(譜面の問題ではなく)になるとデタッチェのようなニュアンスが強くなる。もしかすると楽器としての限界かもしれないが、プンと響きわたるようなバス音を目指してほしい。</p>
長尾	<p>強弱対比がしっかりできている。小山、中山、大山の弾き分けOK。ギターロンが雄弁。Accellもよい。</p>	<p>指揮によく呼吸を合わせている。デクレッシェンドがきれいだ。アゴーギク良く考えて弾いている。緩急の指揮の振り分けもOK。</p>
新堀	<p>指揮、ムダ拍から入った×左死んでいる。足開いて固定××。 mp多すぎ。アゴーギク不足。</p>	<p>fからpの時急激にならない。 mp多すぎ。ハード音ツメアルイレ=チェンバロギターはなしはアキやすい。 体=石×目線トレ(仕上げ)やっていますか。ビヴラートなし。指揮棒の先死んでいます。</p>
猿谷	<p>抑制された上品な演奏。 譜面に忠実にやろうとしていて好感。</p>	<p>最後惜しい。 転がりそうなところを耐えているのが伝わってきて好感。</p>

【問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール2018 開催事務局(現代ギター社内)
〒171-0044 東京都豊島区千早1-16-14
TEL 03-3530-5341